

やまとう問題を斬る！

沖縄への視点/沖縄からの視点 Vol.2

故郷と生活を守る「うちなあ」の民意へ

襲いかかる「やまとう」の論理

米軍による土地の取り上げに抵抗する1956年の那覇（沖縄県公文書館所蔵）

60年以上の時を経てなお、沖縄の状況の本質はかわっていない

2018年10月5日(金) OPEN 18:30 START 19:00

Naked Loft

東京都新宿区百人町1-5-1百人町ビル

[予約] ¥1500 [当日] ¥2000

「やまとう (=日本本土)」は沖縄に米軍基地を押しつけ、基地負担に抗う沖縄の人々を暴力的に排除し、陰湿なデマを吹聴し、あらゆる力を総動員して沖縄を「屈服」させ、沖縄の民意を「やまとう」の論理によって塗りつぶしてきた。

沖縄では翁長前知事の逝去と、これに伴う県知事選挙や辺野古新基地に関する県民投票への期待と不安が交錯している。これまで数々の選挙で示されてきた民意はどこにいくのか？ 新たに示される民意に「やまとう」はどうこたえるのか？

「やまとう」に生きる私たちはどうしていくべきか！？ このままでいいの！？ 私たちにできることは！？ 基地や差別を沖縄に押しつける「やまとう」を問い直す。

第1部

- 沖縄県知事選挙の総括と新知事への期待
- 基地問題をめぐる「保守と革新」「右と左」
- 米軍基地なき後の日本の安全保障とは

第2部

- 辺野古新基地県民投票をどう見るか—沖縄が「やまとう」に問いかけるもの—
- 沖縄の民意へ襲いかかる「やまとう」の論理—政治・メディア・デマの分析と攻略—

第3部

- 質疑応答など

登壇者 (あいうえお順)

木川 智
中村 友哉
山口 祐二郎
渡瀬 夏彦

花瑛塾 塾長
「月刊日本」副編集長 「翁長知事を『左翼』とみなす愚かしさ」(「月刊日本」2015年2月号所収)
憂国我道会 会長 フリーライター
ノンフィクションライター かもがわ出版より単著『沖縄が日本を倒す日』出版予定

ご予約は Naked Loft web site より